

ペットを飼う前も、飼ってからも考えよう

①「自分自身」の万が一に備えて



ペットを飼うあなた（飼い主）が今は健康でも、15～20年先も、変わらず健康的な生活を送れているでしょうか？

もしもの時に備えて、ペットのために何が出来るのか考えておきましょう。

ペットを飼い始める前に考えよう

- ペットの一生にかかる費用は？
- ペットを飼える住宅ですか？
- 転居の予定はありませんか？
- 動物アレルギーの人はいませんか？
- 毎日欠かさず世話ができますか？
- 万が一飼えなくなったときは？



自分自身の突然の入院や死亡等に備え 万が一の預け先を見つけておきましょう

方法（例）

- 親戚・友人などへ預かりをお願いできる関係を築いておく
- 遺言を残す
- 信託を利用する
- 新しい飼い主を探す
- 老犬・老猫ホームで世話をしてもらう



Web ページも併せてご覧ください



あなた自身の万が一に備えましょう

②「ペット」の万が一に備えて



今は元気なペットも、年老いていくと、運動能力が低下したり、重い病気で介護や入院が必要になったりすることがあります。いつか来る別れの時に備え、飼い主として何が出来るのか、今のうちに考えておきましょう。

ペットの治療に備えましょう

計画的な医療費の積み立て、ペット保険への加入等、準備をしておきましょう。



ペットの最期とペットロスに備えましょう

ペットを亡くした悲しみは一人で抱え込まないようにしましょう。



ペットの介護に備えましょう

一人で頑張りすぎず、動物病院やペットシッター等に相談しましょう。一時的な預け先の確保も、負担軽減につながります。



ペットの最期に備えましょう

併せてこちらもご覧ください

一緒に暮らす以外にも、動物との関わり方はあります！

福島県では動物愛護ボランティアを募集しています。

詳しくはこちらをご覧ください！



動物愛護ボランティアの募集について

